【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】令和3年1月28日(2021.1.28)

【公開番号】特開2020-115208(P2020-115208A)
【公開日】令和2年7月30日(2020.7.30)
【年通号数】公開・登録公報2020-030
【出願番号】特願2020-21762(P2020-21762)
【国際特許分類】
Ｇ０３Ｇ　15/08　(2006.01)
Ｇ０３Ｇ　21/16　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０３Ｇ　15/08　３９０Ｂ
Ｇ０３Ｇ　21/16　１７６

【手続補正書】
【提出日】令和2年12月10日(2020.12.10)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
像担持体に形成された静電潜像を現像するためにトナーとキャリアを含む現像剤を担持搬送する現像回転体と、
前記現像回転体が配置され且つ前記現像回転体に現像剤を供給する第一室と、前記第一室と隔壁によって区画され且つ前記第一室との間で現像剤が循環する第二室と、前記第二室よりも鉛直方向上方且つ前記現像回転体の回転軸線よりも鉛直方向下方に配置された開口部を有し且つ初期現像剤を収容する収容室と、を有する現像容器と、
前記第一室に配置され、現像剤を第一方向に搬送する第一搬送スクリューと、
前記第二室に配置され、現像剤を前記第一方向とは反対の第二方向に搬送する第二搬送スクリューと、
前記収容室に初期現像剤を収容するために前記開口部を封止する封止シートと、
前記収容室に設けられ、前記封止シートを貼り付けるためのシート貼付部と、
前記封止シートを前記現像容器の内部から前記現像容器の外部に排出するためのシート排出部と、
を備え、
前記シート貼付部に貼り付けられた前記封止シートを、前記シート排出部を介して、前記現像容器の内部から前記現像容器の外部に排出することにより、前記収容室に収容された初期現像剤は、前記開口部を介して、前記収容室から前記第二室に移動可能であり、
前記第二搬送スクリューの回転軸線方向において、前記開口部は、前記シート排出部よりも前記現像容器の内側に配置されており、
前記シート排出部は、前記開口部よりも鉛直方向上方に配置されている、
ことを特徴とする現像装置。
【請求項２】
前記シート貼付部は、前記開口部の長手方向の全域に亘って、前記収容室に設けられており、
前記シート貼付部に貼り付けられた前記封止シートは、前記開口部の長手方向の全域に亘って、前記開口部を封止している、

ことを特徴とする請求項１に記載の現像装置。
【請求項３】
前記第二搬送スクリューの回転軸線方向において前記シート排出部よりも前記現像容器の内側で、前記封止シートは、前記封止シートの自由端部が折り曲げられた状態で、前記シート貼付部に貼り付けられている
ことを特徴とする請求項１又は２に記載の現像装置。
【請求項４】
前記シート排出部は、前記第二搬送スクリューの径方向に沿って形成されている、
ことを特徴とする請求項１乃至３のいずれか１項に記載の現像装置。
【請求項５】
前記封止シートは、ウレタンシートである、
ことを特徴とする請求項１乃至４のいずれか１項に記載の現像装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
本発明に係る現像装置は、像担持体に形成された静電潜像を現像するためにトナーとキャリアを含む現像剤を担持搬送する現像回転体と、前記現像回転体が配置され且つ前記現像回転体に現像剤を供給する第一室と、前記第一室と隔壁によって区画され且つ前記第一室との間で現像剤が循環する第二室と、前記第二室よりも鉛直方向上方且つ前記現像回転体の回転軸線よりも鉛直方向下方に配置された開口部を有し且つ初期現像剤を収容する収容室と、を有する現像容器と、前記第一室に配置され、現像剤を第一方向に搬送する第一搬送スクリューと、前記第二室に配置され、現像剤を前記第一方向とは反対の第二方向に搬送する第二搬送スクリューと、前記収容室に初期現像剤を収容するために前記開口部を封止する封止シートと、前記収容室に設けられ、前記封止シートを貼り付けるためのシート貼付部と、前記封止シートを前記現像容器の内部から前記現像容器の外部に排出するためのシート排出部と、を備え、前記シート貼付部に貼り付けられた前記封止シートを、前記シート排出部を介して、前記現像容器の内部から前記現像容器の外部に排出することにより、前記収容室に収容された初期現像剤は、前記開口部を介して、前記収容室から前記第二室に移動可能であり、前記第二搬送スクリューの回転軸線方向において、前記開口部は、前記シート排出部よりも前記現像容器の内側に配置されており、前記シート排出部は、前記開口部よりも鉛直方向上方に配置されている、ことを特徴とする。